

<センター等>

別紙 2

全学内部質保証委員会の意見書

I 対象となるセンター等

福井大学総合情報基盤センター

II 自己点検、外部評価実施時期

令和6年7月～令和7年1月

III 評価結果

1. 今回の自己点検・評価は適切に実施されたか

一部不適切である。

センターの活動・成果・効果については様々な機会から存じ上げており、それに照らすと自己点検・評価の結果はおおむね適切である。しかしながら、自己点検・評価報告書には、十分な分析が行われたことを示す記述や主張の裏付けとなる根拠資料を確認できない箇所が目立ち、自己点検・評価の体制や過程に改善すべき点があると判断する。

2. 外部評価は適切に実施されたか（外部評価を実施している場合）

該当なし

3. センター等の設置目的等や活動は本学及びセンター等の目的・目標等に沿ったものであるか

適切である

4. 設置目的等を達成する上で、組織、設備、財務等は適切か

おおむね適切である

人員配置、施設・設備、財務基盤のいずれにおいても余裕がなく、限界的な条件のもとにありながらも、センターの努力でなんとか現状を維持しているものと見られる。新たな取組みやサービスの提供は、全学的なサポートが今以上になければ難しいと思われるが、他方で、他部局に属す兼任教員個々人の負担軽減も図られるべきと考える。

5. 活動は本学及びセンター等の目的・目標等の達成に十分に資しているか

資している

6. 活動によって人材育成が図られているか

該当なし

7. 内部質保証体制が適切に整備され、機能しているか

確認できない

「福井大学総合情報基盤センター規程」に内部質保証体制に関する定めがない。また、運営委員会等の要項等の内容が自己点検・評価報告書に記載されておら

ず、それら要項等に内部質保証体制が規定されているかも確認できない。

8. 外部評価における意見への対応（自己点検・評価での課題への対応）は適切か
おおむね適切である

- ・具体性に乏しい

9. その他、特記すべき点・改善を要する点等

特記すべき点：

- ・限られた予算、人員、期間のなかで、インフラとしての情報環境を損なうことなく維持している。

改善を擁する点：

- ・人員配置、施設・設備、財務基盤のいずれにおいても、限界的状況を少しでも改善できることが望ましい。
- ・自己点検・評価報告書の記述をより具体的、分析的にする、点検・評価・改善が行われたことを読み取れる資料を同報告書につけるなど、自己点検・評価が有効に機能していることを説得力のある形で示していただきたい。詳細は「確認または評価担当チームの委員としての意見書」を参照願いたい。
- ・年度ごとの事業報告において、内部質保証として点検し改善した点を読み取ることができるように記載した方がよい。

10. 上記を踏まえ、センター等の改廃についての意見

(1) 専任教員の配置は妥当か

おおむね適切

センターの役割の重要性、業務の専門性や広さに鑑みて専任教員の増員が望ましいものの、各部局で教員の配置に余裕がない状況では、現状でやむを得ないともいえる。

(2) 現状どおり設置していくことは適切か

適切である

各種手続きや許認可の簡素化・教員関与の軽減など、業務内容の見直しを検討する余地はないか。また、センター業務のうちインフラの維持管理への教員の関与の仕方に検討の余地はないか。